

【セミナー中に答えられなかった質問】

Q1：コモディティの透明性を確保するためのブロックチェーン使用の有無、有の場合の有効性や現状の課題等があるか。

A:パームオイルに関しては、ブロックチェーンを使用して農園までのトレーサビリティを確保している企業もある。カカオについてもブロックチェーンが利用されているが、農園までのトレーサビリティではなく、サプライヤーレベルまでである。

Q2：畜産と森林伐採の関係で、今話題になっている培養肉の開発が一つの Solution になると思われるか。

A:大豆などによる代替肉や昆虫食などもあるが、今はまだ何とも言えない。

Q3：牛肉が森林破壊に及ぼす影響は主に穀物飼料生産によるものとする。この点に関する WWF ジャパンの取組は少ないようだが、具体的にどのような対策があるか？

A: パネルディスカッションで議論したように、穀物飼料生産も影響するが、放牧が主な原因となっている。一頭当たり 1 ヘクタールといった広い面積で放牧している。持続可能な牛肉に向けた対策は難しく、牛肉の認証の取組もあるがあまり広がっていない。

Q4：農家の経営規模と生産の持続可能性にはどのような関係があるか？取引の集約化（農協など）で十分なのか、生産設備の高度化が必要か？

A:農家の経営規模と生産の持続可能性の関係性は一概には言えない。例えばベトナムのコーヒー栽培などでは、ため池建設や点滴灌漑などの投資が必要になり、個々の小規模農家は対応できないので政府の支援が必要。小規模農家が生産方法を変えることが困難な理由は、経済的なものだけではなく、能力的なものもあり、キャパシティ・ビルディング等も重要であるとする。小規模農家の組織化は経済的にも社会的にもよい効果を生む可能性があると考えている。

Q5：未来の日本の林業と農業の共生についての産業構造戦略は如何。

A:日本に関しては、里山等、もともと農業と林業（森林）は共生関係にあり比較的うまくいってきたと考える。耕作放棄も増えているが、条件の悪い農地は木を植えて森林化した方が良いところもある。